

ESG関連トピック紹介_2023年10月

脱炭素推進の切り札_CO2分離・回収・貯留・利用技術①

2023年10月31日

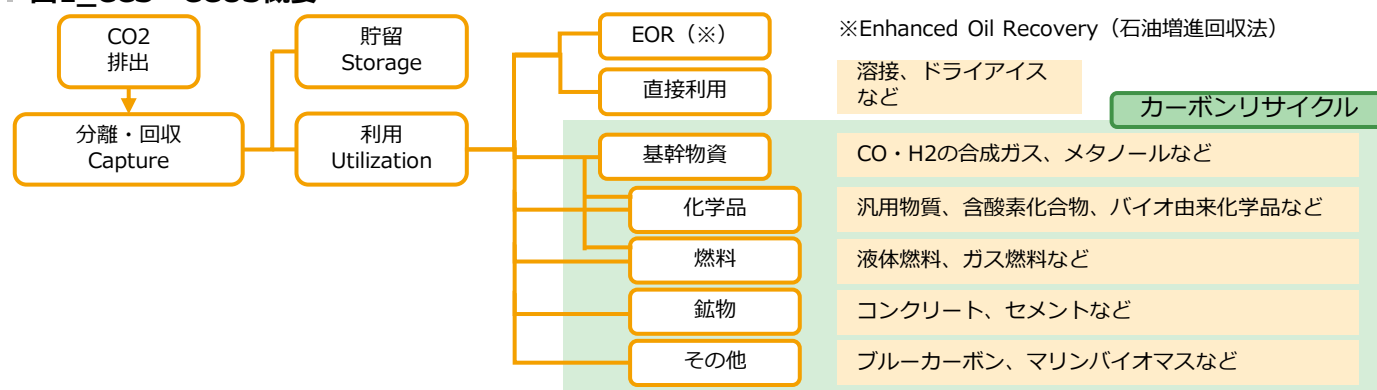
カーボンニュートラル実現に不可欠なCCS・CCUS

カーボンニュートラルを推進する上で、CO₂（二酸化炭素）排出量を削減させるエネルギー転換なども重要ですが、大気中のCO₂を分離・回収、貯留するCCS（Carbon dioxide Capture and Storage）、また、CO₂を燃料などに変換して利用することも含めたCCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）も炭素削減のための重要な手段として注目されています（図1、図2）。

IEA（国際エネルギー機関）の試算によると、世界のCO₂排出量を2050年までにネット・ゼロにする軌道に乗せるためのシナリオの場合、世界全体で年間約70億トン以上のCO₂回収が必要と試算しており、これに基づいて経済産業省が試算した日本で必要なCCSの推計量は2050年時点で2.4億トンとしています。世界的にもCCSの重要性への認識が高まり各国で政策への導入が進められています。経済産業省では2023年3月にCCS長期ロードマップ検討会での取りまとめを公表し、2030年までの事業開始に向けた事業環境を整備し（コスト低減、海外CCS推進、CCS事業法整備など）、2030年以降に本格的にCCS事業を展開する方針を打ち出しています。

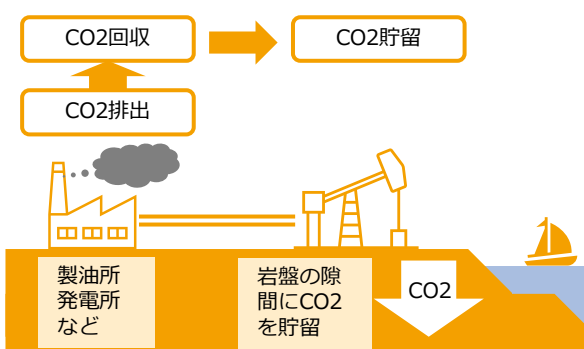
課題としては、CO₂の分離・回収にかかるコストの高さや、十分な量のCO₂を貯留するための地層を確保する必要があることなどがあります。CO₂の分離・回収の方法は様々あり、実用的な技術の確立やコストの低減に向けて研究が進められており、2030年に半減、2050年には4分の1以下とするコスト低減を目指しています（図3）。また、貯留するための地層については国主導でCCSを目的とした地質構造調査が行われ、調査データの貸し出しも行われます。

図1_CCS・CCUS概要



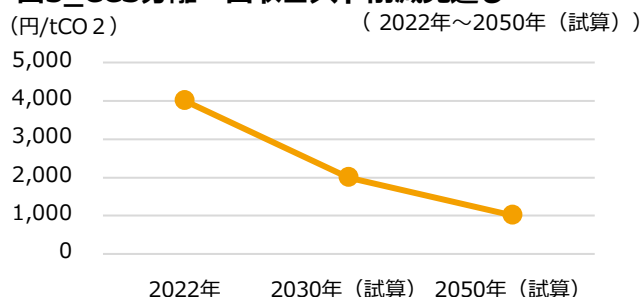
（出所）経済産業省「カーボンリサイクルロードマップ」より大和アセット作成

図2_CCSの流れ



（出所）経済産業省 資源エネルギー庁HPより大和アセット作成

図3_CCS分離・回収コスト削減見通し



（出所）経済産業省「CCS長期ロードマップ検討会最終とりまとめ」より大和アセット作成

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

先月のESG関連ニュース

日付	ニュース
2023/9/13	国連気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局と国連経済社会局（UN DESA）が、気候変動と持続可能な開発との相乗効果に関するレポートを発表。
2023/9/14	経済産業省が、「カーボンマネジメント小委員会（第1回）」を開催、2030年以降のCCS事業の本格展開に向けてカーボンリサイクル政策とCCS政策について議論。
2023/9/20	米国証券取引委員会（SEC）は、ESG（環境、社会、ガバナンス）または持続可能性に関連する要素に重点を置いた投資を示唆する名称のファンドに対し、資産価値の80%以上をESG要素に従って投資することを義務付ける新規則の採用を発表。
2023/9/22	東京証券取引所が、カーボンクレジット市場の開設日を2023年10月11日に決定したことを公表。

※各機関HP等から大和アセット作成

MSCI指数の推移

MSCI ACWI ESG Leaders 指数とMSCI ACWIのパフォーマンスを比較すると、5年間でみるとMSCI ACWI ESG Leaders 指数がやや上回るパフォーマンスとなっています。

MSCI ACWI ESG Leaders 指数推移（月次）

（2014年10月末～ 2023年9月末）



※2014年10月末を100として指数化、配当込み円ベース。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

リターン・リスク（月次）

（2023年9月末時点）

年率リターン	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
1年	26.0%	24.8%
3年	19.6%	20.0%
5年	13.0%	12.5%

年率リスク	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
1年	16.0%	16.2%
3年	15.7%	15.5%
5年	17.4%	17.6%

投資効率（リターン/リスク）

	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
2014年10月末～2023年9月末	0.69	0.68

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。